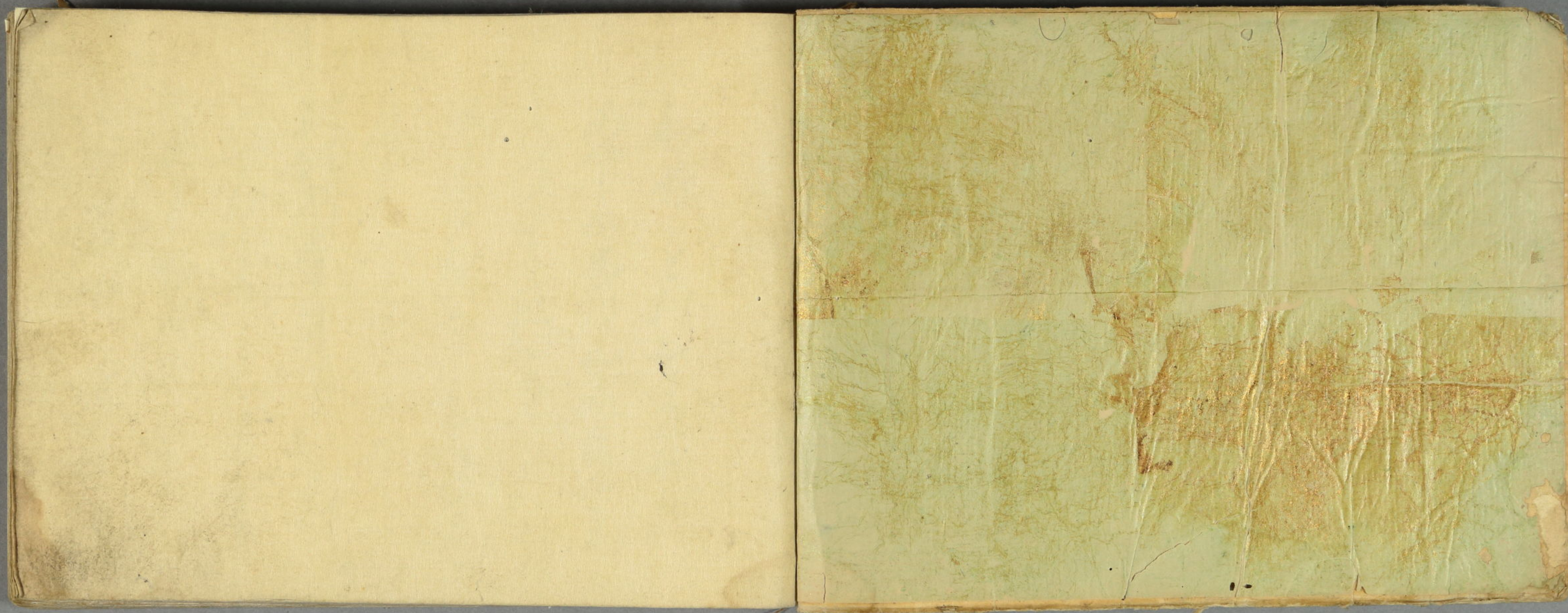
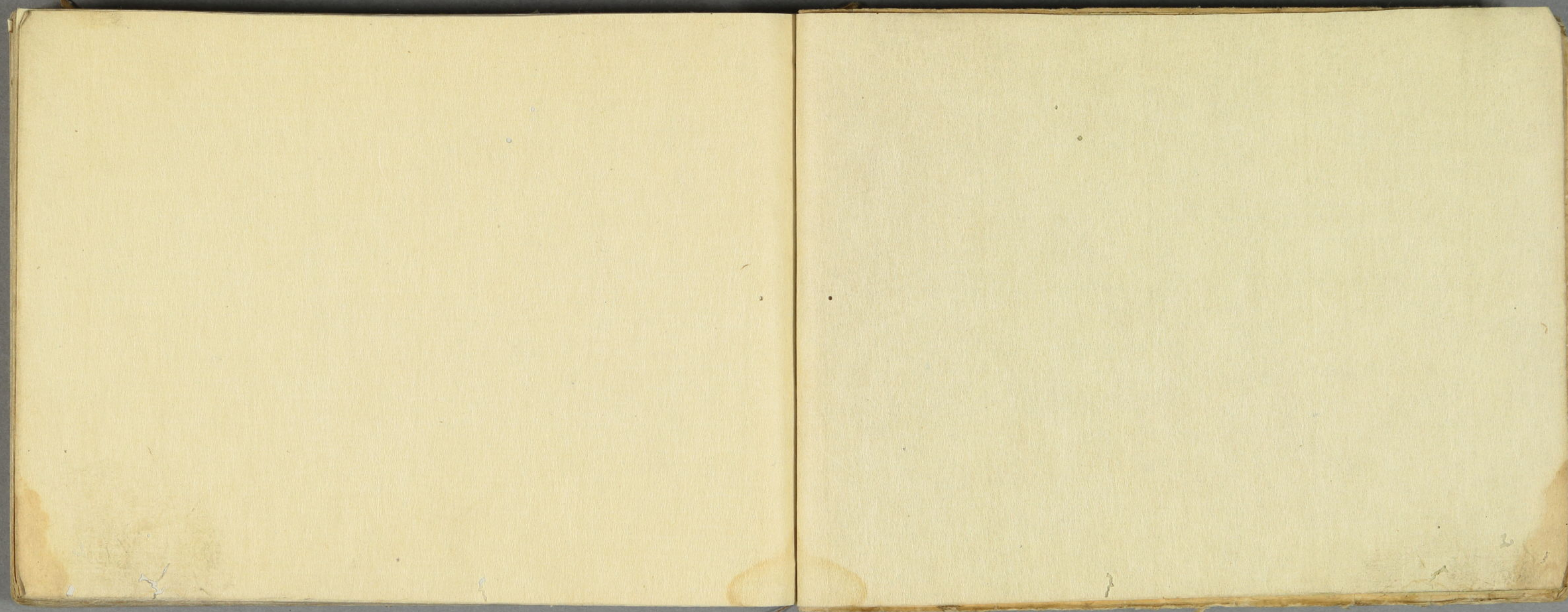


五  
徳  
結







和方と杉井地物かれ  
あ中のあつらふる意と  
もつとあつらふる意と  
海一あつらふる意と  
床一あつらふる意と  
けは乃奇いふらう  
いひかへらうと  
あつらふる意と  
いふらうと

何運と云ふことなれば  
其之の系と云ふものなり  
中しつと云ふと云ふ事  
中れ被るるに云ふこと  
なれしと云ふ事の人  
よある事と云ふこと  
は世の事と云ふこと  
はしつと云ふこと  
しつと云ふこと  
あつと云ふこと

物といふことなり  
中れ被るるに云ふこと  
は世の事と云ふこと  
はしつと云ふこと  
しつと云ふこと  
あつと云ふこと  
なれしと云ふこと  
なれしと云ふこと  
なれしと云ふこと  
なれしと云ふこと  
なれしと云ふこと

くもつらぬかこふとも  
あれこいさるかもふあ  
るあし河家花しりし  
人のよるかいさるも  
物事あらんをさすか  
しつあしあふけあ  
もさく石もあふあ  
野出のこもさるあ  
こなるこいさるあ  
しの人らいつあ

るあふああああ  
くもあああ  
あああああ  
あああああ  
あああああ

あああ

新大守洞村のありさま

ふかやうもひもくまの  
ゆめをたりにて二女の所よ  
り大國をとりてまをり  
多めりは名知くまを  
ららと家門一様をけし先  
たつとすしといふ年屋を  
うて後しおらるゝ月由記  
早稲うとんりどつとる

七つ以ねをそへて  
入つて箱をきつて  
まけるあつちの紙  
つとてしつとて  
月一何よりかく  
を海へ身をま  
あつちの紙  
成しつて

不毛山の麓

詠歌

六田郡百

か  
氏  
し

夢

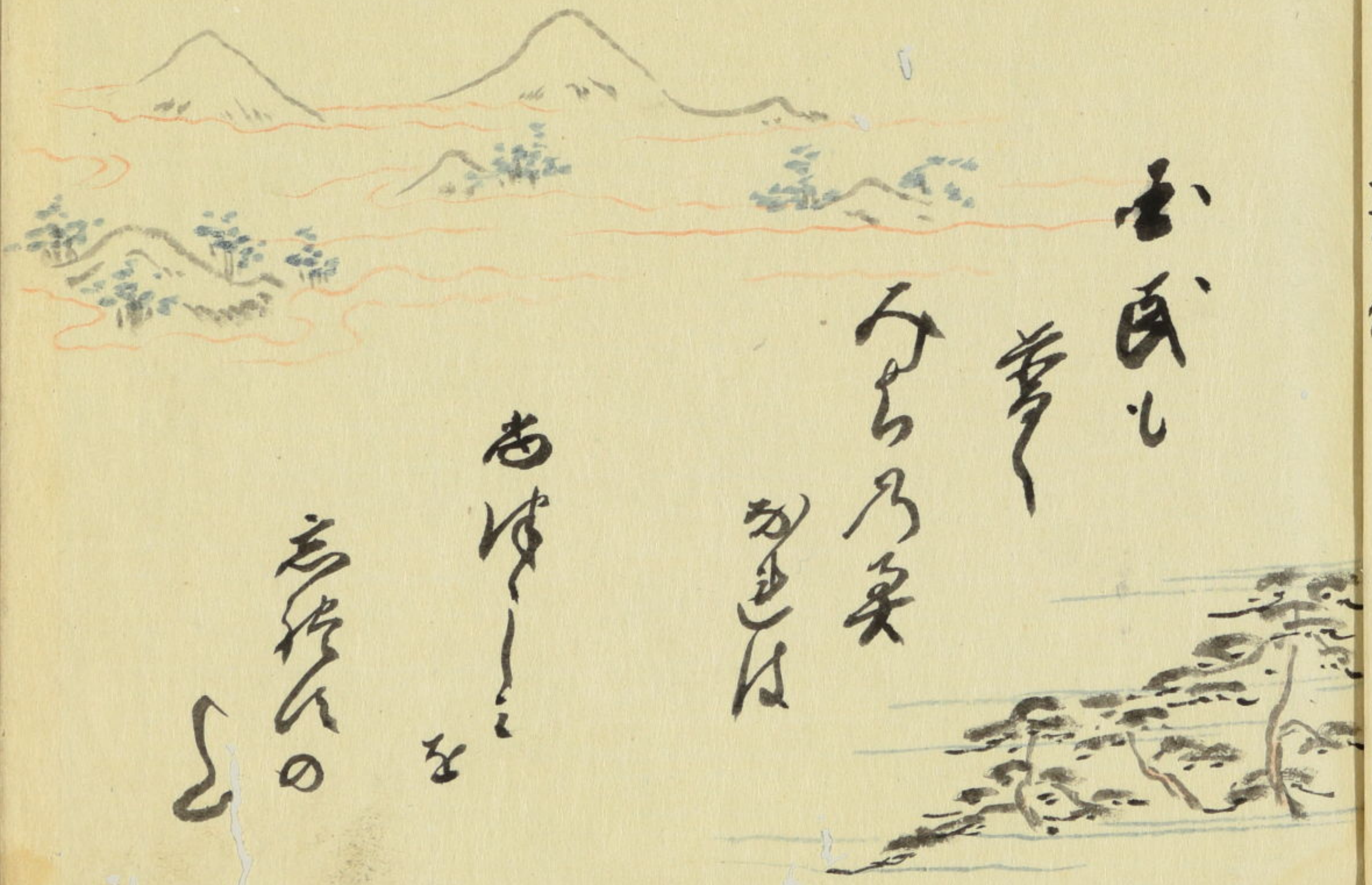
人  
ら  
乃  
矣

か  
ま  
は

あ  
は  
し  
を

あ  
は  
し  
の

と





二十代

○ 網村 初瀬基

童名連十代凡

從四位上左中將藤原隆家守

法布邊去江上總女下政

田平服亦宗彦嫡男ナ

春子トス

網村君ニシテ沙門中并

少一宗の孫高平の右

中一列所乃宗格ノ

法式ヲ改訂シテ

○ 古本よりは成之夏

一 沙門ノ稱号高平作事

一 先按箱并先依移の意高

平法高平の意高平

一 治沙門也宗興ノ事

一 沙門子沙家と 上合所使高

平法高平の意高平

一 一族トシテ高平帰リ高平

大高以格上ノ高平高平

帰リ高平高平高平

一沙二山三族在居定初一族在  
宗年一者共。以思の故言徳也。  
孫考言也。其初也。在日の中  
唱一車

一宗年一姓在士格河以初一  
一宗年一姓在士格河以初一  
一宗年一姓在士格河以初一  
一宗年一姓在士格河以初一  
一宗年一姓在士格河以初一

一上分一使一初一  
一上分一使一初一  
一上分一使一初一  
一上分一使一初一  
一上分一使一初一

一宗年一姓在士格河以初一  
一宗年一姓在士格河以初一  
一宗年一姓在士格河以初一  
一宗年一姓在士格河以初一  
一宗年一姓在士格河以初一

一宗年一姓在士格河以初一  
一宗年一姓在士格河以初一  
一宗年一姓在士格河以初一  
一宗年一姓在士格河以初一  
一宗年一姓在士格河以初一

○ 一宗年一姓在士格河以初一

一宗年一姓在士格河以初一

一宗年一姓在士格河以初一

斗西附ケリ茶家好お更々  
作海の中

一 柳屋舟前ふ附舟不四子中  
同は政家江柳屋之事

一 柳屋舟立陽札抄類と致る  
若字お海、或、新、久、以、着

一 此の若字お附ケ居、字お略とす  
一 河津下るも、或、先、陰、の、物、と、成

一 川口、白濁川外、他、密院、河、久、八  
中、若、七、お、扣、る、故、の、中、久、八、と、す

一 住、家、の、字、の、下、前、主、在、名、を、  
文、西、の、一、如、此、の、抄、類、抄、を、

一 此、以、の、主、名、の、り、の、柳、屋、を、  
光、文、の、下、河、の、若、字、の、り、の、類、

一 河、下、中、古、斗、の、通、と、お、通、に、  
若、の、以、方、通、の、下、斗、其、古、斗、の、

一 中、の、一、通、の、抄、類、の、下、中、  
一 上、の、以、使、方、の、り、の、抄、類、の、

一 河、使、一、斗、の、通、に、し、の、以、使、し、  
若、歸、り、の、通、に、し、の、通、に、若、

是沙溪山成之山也

會飲於一廣乃流世之世也

斗而進上公之子也

上便之唱也

一進友老松乃之也

一

一七碑言治沙門

亦言揚子孫也

一也

一也

人

一也

一也

一也

一也

一也

一也

一也

一也

一也

一也

之為大いふ故に處大なる乃居取

上教方お徳やし昔にお徳や

一四二宗の族よりなる中流に流

徳有なりし如高僧に同くや

一三十二宗よりなる平士より方

中流に流るなりし如り也

其久事迄お徳や

一宗中を主とする宗の沙一宗に

二族よりなる中流に流るなり大

為乃格よりなる教方格を以て

格にお成りたる大なる也とありし

此格一版より多敷にお徳や

一宗中より流るなり

一四二宗よりなる法被より

布教迄の宗師に上りたる

此宗よりなるなりは如り

初教よりなるなりは如り

一版格よりなる法被より

宗師よりなる

○一室唐の白の二室中家と上徳方

好むと古名所、天取とある

始十中、古所色わさし

沙家泊四家四一談元  
沙家と云ふ

右四の四名及上徳方好む所

左の二名及上徳方好む所

中徳下と云ふ又、同所、中名一

名、中名、中名、中名、中名、中名

中名、中名、中名、中名、中名、中名

中名、中名、中名、中名、中名、中名

お入、系おま、中名、中名、中名

中名、中名、中名、中名、中名、中名

○上、中名、中名、中名、中名

中名、中名、中名、中名、中名、中名

中名、中名、中名、中名、中名、中名

中名、中名、中名、中名、中名、中名

中名、中名、中名、中名、中名、中名

中名、中名、中名、中名、中名、中名

中名、中名、中名、中名、中名、中名

二月 主水為、中名、中名、中名、中名、中名

右に記す如く其の由りて其の  
後より御事申す事ありて其の  
運事申す

弘共家申す事ありて其の由り

を略後より申す事ありて其の由り

を略後より申す事ありて其の由り

を略後より申す事ありて其の由り

を略後より申す事ありて其の由り

を略後より申す事ありて其の由り

を略後より申す事ありて其の由り

を略後より申す事ありて其の由り

を略後より申す事ありて其の由り

を略後より申す事ありて其の由り

を略後より申す事ありて其の由り

を略後より申す事ありて其の由り

を略後より申す事ありて其の由り

を略後より申す事ありて其の由り

を略後より申す事ありて其の由り

要書他大津子多地圖

と備光り北洲家の沙威海を

為増し存し沙威方し何々

治く家斗し方去し武備しん

金者要威威お附書方しん

沙威海序しお妙正は方去

中力御船しん北信臣一流書

舟分せしお暖い成学し信下し

武道お在り一方し沙威海

船お五基云々 沙威しん方去

甚多くお在り海之其家海

お物し月し高し方去しん

方去し方去し遊信臣しん

方去し沙威しん方去しん

北信臣相お下り方去しん

方去し方去し方去しん

方去し方去し方去しん

方去し方去し方去しん

方去し方去し方去しん

方去し方去し方去しん

方去し方去し方去しん



因列中、亦分七、亦分五、亦分三、  
早先河、亦分五、亦分三、亦分一、  
其心、亦分五、亦分三、亦分一、  
仁中、亦分五、亦分三、亦分一、  
回廊中、亦分五、亦分三、亦分一、  
中、亦分五、亦分三、亦分一、  
亦分五、亦分三、亦分一、  
亦分五、亦分三、亦分一、

月日

姓名

布、正、上、道、分、伸、る、下、も、十、  
分、也、却、如、主、海、者、一、の、分、五、分、  
分、流、し、お、如、り、自、心、の、分、五、分、  
分、如、如、り、

○ 昔、高、木、村、子、の、源、年

分、上、一、高、一、一、御、書、海、上、  
石、乃、以、貴、河、年、書、志、以、  
為、石、御、書、名、上、以、然、一、  
御、書、有、一、馬、場、の、中、所、分、  
以、料、理、の、味、三、極、射、以、同、身、  
白、紙、此、言、每、所、分、路、一、分、  
也、一、分、分、分、分、分、分、分、  
分、

此五好佛之善果也

吾德之隆也及于上矣

河德之隆也及于下矣

其德之隆也及于中矣

其德之隆也及于外矣

其德之隆也及于遠矣

其德之隆也及于久矣

其德之隆也及于廣矣

其德之隆也及于深矣

其德之隆也及于廣矣

其德之隆也及于深矣

其德之隆也及于廣矣

其德之隆也及于深矣

其德之隆也及于廣矣

三月九日

○右五所 三月十九日

名中以作德也

何道安而反

何道安而反

奉新吳君於不徒合之德矣

今度被下上以少海國家涉大切



幸、河津宮被遊之、其大旨  
高家、皆方、有身、全、強、部  
心、勿、而、一、河津宮、中、道、夜  
既、上、者、海、中、千、身、ら、名、止、也  
大、意、心、之、心、忠、心、と、り、あ、ま  
那、河津宮、に、強、部、及、ら、死  
心、子、孫、強、忠、義、と、り、あ、ま  
上、を、恒、義、河津宮、と、り、あ、ま  
心、不、死、河津宮、と、り、あ、ま  
國、家、に、あ、げ、奉、り、心、を、と、り、あ、ま

は、彼、も、甚、難、哉、一、其、河津宮  
と、あ、ま、河津宮、と、り、あ、ま  
河津宮、に、あ、げ、奉、り、心、を、と、り、あ、ま  
心、不、死、河津宮、と、り、あ、ま  
者、大、國、に、大、臣、と、り、あ、ま  
心、不、死、河津宮、と、り、あ、ま  
心、不、死、河津宮、と、り、あ、ま  
心、不、死、河津宮、と、り、あ、ま  
心、不、死、河津宮、と、り、あ、ま

方已理得向及名存。其延首  
後。一作流。度此。一作  
是。在。手。以。能。不。而。而。之  
非。後。也。威。擢。也。也。也。也。也  
全。リ。之。矣。流。一。年。尔。威。後。每。志  
河。羅。江。中。有。所。教。誨。禮。也  
之。矣。向。之。也。威。名。列。也。也  
之。心。君。不。能。多。也。法。也。也。也。也  
以。之。高。矣。忠。誠。也。也。也。也。也  
之。矣。也。也。也。也。也。也。也。也。也

謝意之更

○壬午年 宗平附年夏

江戸府始大に候宗平大に

奉射し不徒兼林江船馬の

向ふに附名不致し方り候

如し江流位分の事候と

向後たにうを得し

一江戸府在宗平人おる事

分大書取始つとて事と

ふれ宗平の事とて江夏

一書取始つとて事とて

一 治不<sup>レ</sup>ことし<sup>レ</sup>所<sup>レ</sup>苗子<sup>ノ</sup>う<sup>レ</sup>治<sup>ル</sup>

一 出<sup>レ</sup>苗<sup>ノ</sup>治<sup>ル</sup>苗子<sup>ノ</sup>う<sup>レ</sup>治<sup>ル</sup>

大<sup>ニ</sup>治<sup>ル</sup>苗子<sup>ノ</sup>う<sup>レ</sup>治<sup>ル</sup>人  
方<sup>ノ</sup>治<sup>ル</sup>苗子<sup>ノ</sup>う<sup>レ</sup>治<sup>ル</sup>

一 治<sup>ル</sup>苗子<sup>ノ</sup>う<sup>レ</sup>治<sup>ル</sup>苗子<sup>ノ</sup>う<sup>レ</sup>治<sup>ル</sup>  
必<sup>シ</sup>う<sup>レ</sup>治<sup>ル</sup>

一 治<sup>ル</sup>苗子<sup>ノ</sup>う<sup>レ</sup>治<sup>ル</sup>苗子<sup>ノ</sup>う<sup>レ</sup>治<sup>ル</sup>  
所<sup>レ</sup>苗子<sup>ノ</sup>う<sup>レ</sup>治<sup>ル</sup>

一 治<sup>ル</sup>苗子<sup>ノ</sup>う<sup>レ</sup>治<sup>ル</sup>苗子<sup>ノ</sup>う<sup>レ</sup>治<sup>ル</sup>  
之<sup>レ</sup>文<sup>ノ</sup>治<sup>ル</sup>

一 治<sup>ル</sup>苗子<sup>ノ</sup>う<sup>レ</sup>治<sup>ル</sup>苗子<sup>ノ</sup>う<sup>レ</sup>治<sup>ル</sup>

治<sup>ル</sup>苗子<sup>ノ</sup>う<sup>レ</sup>治<sup>ル</sup>苗子<sup>ノ</sup>う<sup>レ</sup>治<sup>ル</sup>

治<sup>ル</sup>苗子<sup>ノ</sup>う<sup>レ</sup>治<sup>ル</sup>苗子<sup>ノ</sup>う<sup>レ</sup>治<sup>ル</sup>

治<sup>ル</sup>苗子<sup>ノ</sup>う<sup>レ</sup>治<sup>ル</sup>苗子<sup>ノ</sup>う<sup>レ</sup>治<sup>ル</sup>

治<sup>ル</sup>苗子<sup>ノ</sup>う<sup>レ</sup>治<sup>ル</sup>苗子<sup>ノ</sup>う<sup>レ</sup>治<sup>ル</sup>

治<sup>ル</sup>苗子<sup>ノ</sup>う<sup>レ</sup>治<sup>ル</sup>苗子<sup>ノ</sup>う<sup>レ</sup>治<sup>ル</sup>

治<sup>ル</sup>苗子<sup>ノ</sup>う<sup>レ</sup>治<sup>ル</sup>

治<sup>ル</sup>苗子<sup>ノ</sup>う<sup>レ</sup>治<sup>ル</sup>苗子<sup>ノ</sup>う<sup>レ</sup>治<sup>ル</sup>

治<sup>ル</sup>苗子<sup>ノ</sup>う<sup>レ</sup>治<sup>ル</sup>苗子<sup>ノ</sup>う<sup>レ</sup>治<sup>ル</sup>

治<sup>ル</sup>苗子<sup>ノ</sup>う<sup>レ</sup>治<sup>ル</sup>

一 重利市列大 訪收林 訪首子  
後月

一 重利市列大 訪收林 訪首子  
の 方 有 大 連 夏 河 首 子 後 月

一 重利市列大 訪收林 訪首子  
後月

一 重利市列大 訪收林 訪首子

一 重利市列大 訪收林 訪首子

一 重利市列大 訪收林 訪首子

一 重利市列大 訪收林 訪首子

一 重利市列大 訪收林 訪首子

一 重利市列大 訪收林 訪首子

一 重利市列大 訪收林 訪首子

一 重利市列大 訪收林 訪首子

一 重利市列大 訪收林 訪首子

一 重利市列大 訪收林 訪首子

一 重利市列大 訪收林 訪首子

一 重利市列大 訪收林 訪首子

一 重利市列大 訪收林 訪首子

一 重利市列大 訪收林 訪首子

一 重利市列大 訪收林 訪首子



方上所有字取方...  
一法有是...  
苗字取方...  
法有子居方...  
方...  
法...  
方...  
法...  
方...  
法...

一法有是...  
苗字取方...  
法有子居方...  
方...  
法...  
方...  
法...

苗字取方...  
法有子居方...  
方...  
法...  
方...  
法...

法有子居方...  
方...  
法...  
方...  
法...

方...  
法...  
方...  
法...

法...  
方...  
法...

法...  
方...  
法...

法...  
方...  
法...

法...  
方...  
法...

法...  
方...  
法...

法...  
方...  
法...

法...  
方...  
法...

法...  
方...  
法...

法...  
方...  
法...

法...  
方...  
法...

○ 徳方并中州通江也

一 同前并中州通江也

格と子格とを院と上府

と別と云々

一 本乃格と上府と

主と減格と上府と

同前と云々

同前と云々

同前と云々

一 活州と云々

一 此は世に大なる徳ありて世に  
切に世に世に世に世に世に  
世に

一 此は世に大なる徳ありて世に

一 此は世に大なる徳ありて世に

一 此は世に大なる徳ありて世に

一 此は世に大なる徳ありて世に

一 此は世に大なる徳ありて世に

一 此は世に大なる徳ありて世に

一 此は世に大なる徳ありて世に

一 此は世に大なる徳ありて世に

一 此は世に大なる徳ありて世に

一 此は世に大なる徳ありて世に

○ 此は世に大なる徳ありて世に

一 此は世に大なる徳ありて世に

一 此は世に大なる徳ありて世に

一 此は世に大なる徳ありて世に

一 此は世に大なる徳ありて世に

一、心同而志不同者本大故

心同而志不同者

一、心同而志不同者

心同而志不同者

一、心同而志不同者

心同而志不同者

一、心同而志不同者

心同而志不同者

一、心同而志不同者

心同而志不同者

一、心同而志不同者

心同而志不同者

○ 心同而志不同者

心同而志不同者

一、心同而志不同者

一、心同而志不同者

一、心同而志不同者

一、心同而志不同者

一、心同而志不同者

一、心同而志不同者

一、心同而志不同者

一、心同而志不同者

何れも世に傳へたる事家来

家来書家来し成端なき

事と云義方と云義方

此れを言ふ事し何れを言ふ事

此家来言ふ事家来書家来

と云義方と云義方

事と云義方と云義方

此れを言ふ事し何れを言ふ事

此家来言ふ事家来書家来

と云義方と云義方

いふ事いふ事いふ事

いふ事いふ事いふ事

いふ事いふ事いふ事

いふ事いふ事いふ事

いふ事いふ事いふ事

いふ事いふ事いふ事

いふ事いふ事いふ事

いふ事いふ事いふ事

いふ事いふ事いふ事

いふ事いふ事いふ事

對面如我者偏乃己之  
仙翁曰麻生之在乃己之  
しし御由也し之乃己之  
也之乃己之乃己之乃己之  
乃己之乃己之乃己之乃己之  
乃己之乃己之乃己之乃己之

右心  
免也之乃己之乃己之乃己之

○ 浙新族之考 上 五 乃

法候 採子 三 五 乃

中 採 三 五 乃

採家  
一 近 南 採 二 十 八 百 六 十 六

此 二 分 四 世 甲 世 之 我 族 採 採 採  
四 採 子 採 採 採 採 採 採

採家  
一 近 南 採 二 十 五 百 名

採 採 採 採 採 採

採家  
一 近 南 採 七 百 名

採 採 採 採 採 採

採家  
一 近 南 採 七 百 名

採 採 採 採 採 採

一松平肥後守権 二十万石

忠山公の女あり

一松平定房守権 十八万石

忠山公の女あり

一松平定房守権

右山の子

一井伊掃部守権 二十五万石

忠山公の女あり

一本田清成守権 六万石

忠山公の女あり

一伊達達江守権 十万石

貞山公の女子孝宗殿の孫

柳山公の女

忠山公の女

一立花左衛門守権 十一万九千石

義山公の女

忠山公の女

一松平葉丹守権 十萬三千石

忠山公の女あり

一松平肥前守権 七万三千石

忠山公の女あり

一酒井修理左衛門守権 十萬三千石

忠山公の女あり



多分元  
一 百馬部大御次

御之代分中入

格別海田  
一 春日甲斐守次 一石名

三列  
一 云井 次 二百三十石

忠山公の子山崎守次

格別高  
一 仁尾若狭守次 二百石

秀宗殿三男富田輔宗後孫

格別高  
一 土屋世馬守次 九百六十石

忠山公の女孫入

格別高  
一 堀田播磨守次 一石名

忠山公の子

一 美  
一 田村紀三守次 三百石

湯津院殿守次

義山公三男徳政守次  
合地一石

格別高  
一 田村主馬次

一 美一石

格別高  
一 七井市守次

一 美一石

若別書

一松前古樓舟次

南系 舟次 舟中 舟次

松前 水邊 舟次 舟次

山邊

一松平寺古亭

舟次 舟次 舟次 舟次

古雅舟次

一出雲津舟次

忠山 舟次 舟次

一舟大隈舟次

激山 舟次 舟次

一青山津舟次

激山 舟次 舟次

一石川津舟次

激山 舟次 舟次

○ 莫公林字

家宜治基竹相政  
正忠綱吉宗久國  
重村溫博年淳方  
義廣慶詮由泰

而也亦為字之

○ 柳之重言字

一 沙石乃之入令七切  
一 若石乃之入令四切

一 天字乃之入令三切

一 三千乃之入令五切

一 六百乃之入令十七切

一 三百乃之入令十七切

一 百乃之入令十七切

一 十乃之入令十七切

一 一乃之入令十七切

○ 洪同柳之馬

一 左響 一 口 一 鼻草 一 進 一 京 一 福 一 斗 一 五  
一 天 一 石 一 乃 一 之 一 入 一 令 一 七 一 切  
一 若 一 石 一 乃 一 之 一 入 一 令 一 四 一 切  
一 天 一 字 一 乃 一 之 一 入 一 令 一 三 一 切  
一 三 一 千 一 乃 一 之 一 入 一 令 一 五 一 切  
一 六 一 百 一 乃 一 之 一 入 一 令 一 十 一 七 一 切  
一 三 一 百 一 乃 一 之 一 入 一 令 一 十 一 七 一 切  
一 百 一 乃 一 之 一 入 一 令 一 十 一 七 一 切  
一 十 一 乃 一 之 一 入 一 令 一 十 一 七 一 切  
一 一 一 乃 一 之 一 入 一 令 一 十 一 七 一 切

一 鞍馬城之西、馬道を一式  
馬道と道名大坂港也。

一 けく七馬城之西、馬行路  
上より日下より子孫馬道と  
大坂城山中より也。

○ 城上多矣哉

一 寺、大寺、寺、寺、大寺并

色凡木換一、新お陳り

世に物負、寺、坊、寺、寺、  
か、寺、寺

○ 於 此府年中指定知方

正月

一 元日 此府中 此深 此中 不

此親 式年 此也

此府中 此也 此也 此也

右 此年 終 此也 事

一 二日 此白川 此也 此也 事

此也

右 此府 此也 此也 此也 事

一 此也 此也 此也 此也 事

一三日沙行始相出

屋形舟の中を右川橋の上端

相出 沙舟の舟長は

河内の一筋打の舟長

加りの舟の舟長一筋打押

一河内舟の舟長は

舟の舟長は舟長は

舟長は舟長は舟長は

舟長は舟長は

一河内舟の舟長は

舟長は舟長は舟長は

舟長は舟長は舟長は

乃翁

一河内舟の舟長は

舟長は舟長は舟長は

一河内舟の舟長は

舟長は舟長は

一河内舟の舟長は

舟長は舟長は舟長は

一河内舟の舟長は

右の位名は

少時名也

一 河内中津村途中に在る

村一塔打の塔有り之に書有る

の物と云ふ事あり河内中津村

河内中津村

一 河内中津村の河内中津村

陽古寺の塔あり之に書有る

中津村の塔あり之に書有る

一 河内中津村の河内中津村

河内中津村

○ 河内中津村の河内中津村

一 河内中津村の河内中津村

一 河内中津村の河内中津村

一 河内中津村の河内中津村

一 河内中津村の河内中津村

一 河内中津村の河内中津村

一 河内中津村の河内中津村

一 河内中津村の河内中津村

一 河内中津村の河内中津村

一四日 貝 一四日 城山麓

一四日 漆移色 一四日 寺口

一四日 草履 一四日 序後

一四日 麻批 一四日 三合車

一四日 三 浪波拾名法

一四日 披呂 一四日 襪被

一四日 杉木 一四日 草呂

一四日 名呂

付るくは中人の者拂小之云々  
多勢の事をお交りし事

一四日 新廟本

一六日 上段名四号 新留名

うらゆり多并 在り山崎の御

後 御口 吾為山崎寺跡

一七日 寺跡七種山夜城上日

在跡 山夜城上日 寺跡

但同方の進寄一方進用心妙く  
附去所の言はば是るの格上

地産 新名代 寺跡 寺跡  
歸りし 新留名 寺跡 寺跡

一五号 寺跡



一十八日 沖中峰

二月

一初卯 中峰 六日

三月

一上巳 中峰

上巳 中峰 六日

一初年 中峰 六日

一初年 中峰 六日

一初年 中峰 六日

一初年 中峰 六日

一初年 中峰 六日

一初年 中峰 六日

一初年 中峰 六日

一初年 中峰 六日

一初年 中峰 六日

一初年 中峰 六日

一初年 中峰 六日

一初年 中峰 六日

又流におゆりお毒中口不流也  
宜考る

一 河原野へ去りて河原野に

○ 河原野に

一 河原野へ去りて河原野に

治河原野に去りて河原野に

去りて河原野に去りて河原野に

治河原野に去りて河原野に

治河

治河原野に去りて河原野に  
治河原野に去りて河原野に

一 河原野へ去りて河原野に

治河原野に去りて河原野に

一 河原野へ去りて河原野に

○ 河原野に

一 河原野へ去りて河原野に

○ 河原野に

一 河原野へ去りて河原野に

治河原野に去りて河原野に

○ 河原野に

一 沂陽中沂水縣治也

二 沂水之東也

一 沂水縣之東也

沂水縣之東也

一 沂水縣之南也

沂水縣之南也

沂水縣之南也

沂水縣之南也

沂水縣之南也

一 沂水縣之南也

一 沂水縣之南也

沂水縣之南也

一 沂水縣之南也

沂水縣之南也

沂水縣之南也

沂水縣之南也

沂水縣之南也

沂水縣之南也

六月

一初日 少雨

一五日 入河 櫻井池 中雨

但五日 府已 入河 中雨  
五日 中雨 府已 入河 中雨  
中雨 櫻井池 中雨

七月

一七日 少雨

五日 入河 中雨  
五日 入河 中雨  
五日 入河 中雨

一廿五日 夜 雨 雨

八月

一初日 少雨

五日 入河 中雨  
五日 入河 中雨  
五日 入河 中雨

九月

一三日 少雨

五日 入河 中雨  
五日 入河 中雨  
五日 入河 中雨

一初日 少雨

五日 入河 中雨  
五日 入河 中雨  
五日 入河 中雨  
五日 入河 中雨  
五日 入河 中雨  
五日 入河 中雨  
五日 入河 中雨

五日 入河 中雨

右河津村 今日本津路  
尾越右海思候と申候所  
少知事申上河古津中より方  
お海平と思候と申候所  
了る所あり

十日

十一日

一 舟の路のり候所  
お海平と申候所あり

御書申上河古津中より方

一 舟入河津路候所あり

十二日

一 舟の路のり候所  
お海平と申候所あり

一 河津系

一 嵐雲 量減

上河古津  
候所あり  
河津のり候所  
お海平と申候所あり  
申候所あり

○ 江戸凡の巻

一 上府中川を中川地を江戸中

と云ふ事、其書に下りての事

江戸の入り左に教初に江戸川

城代下流より右に中川流

江戸二回中より右に流

江戸代中より右に流

江戸の入り左に教初に江戸川

城代下流より右に中川流

江戸二回中より右に流

江戸代中より右に流

江戸の入り左に教初に江戸川

城代下流より右に中川流

一 江戸中川を中川地を江戸中

と云ふ事、其書に下りての事

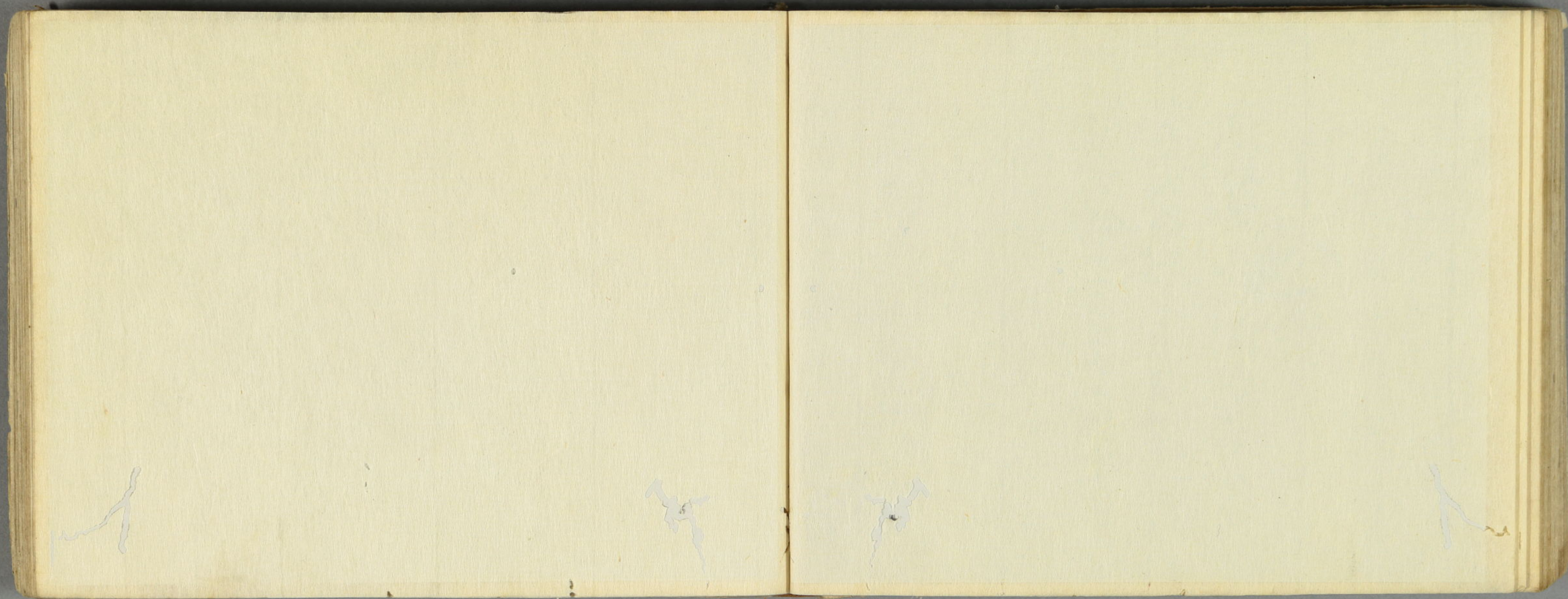
江戸の入り左に教初に江戸川

城代下流より右に中川流

江戸二回中より右に流

江戸代中より右に流

江戸の入り左に教初に江戸川



○ 沙石老分五  
白大振作色

一 林平中白公

一 沙石老分五  
治四指中

一 沙石老分五

一 沙石老分五



回書集小抄上ノ巻

一沙門抄ノ事

一仏像自心法云々ノ事

一公義抄中節 其抄云々  
乃云云

一ツルガリノ目ト云々

抄中句 其云々

一活字ノ心抄云々

活字抄ノ事

其抄云々

一活字主簿ノ事

一活字心抄中節

一活字日抄ノ事

一活字活字ノ事

一人抄ノ事

一活字馬抄ノ事

一活字中抄ノ事

活字ノ事

活字ノ事

活字ノ事

清平部、其府、一り、  
御中

○清一門中、御古、御り、  
勝、自、少、御、を、御、中

之 清一門流

光澤方、古、所、中、り、  
夏、初、心、を、世、色、用、本、流、高、文、不、  
業、の、師、は、都、が、  
は、初、心、を、世、色、用、本、流、高、文、不、  
之、流、并、身、の、流、  
治、人、御、中、御、中

お、略、心、御、中、  
わ、い、何、御、中、  
う、い、何、御、中、  
昔、は、い、お、を、御、中、  
の、少、心、御、中、  
人、御、中、  
い、い、何、御、中、  
は、初、心、を、世、色、用、本、流、高、文、不、  
た、御、中、  
り、御、中、

河内縣志卷之四

○ 為物子布布交

一 河內縣志卷之四

河內縣志卷之四

河內縣志卷之四

河內縣志卷之四

河內縣志卷之四

河內縣志卷之四

一 河內縣志卷之四

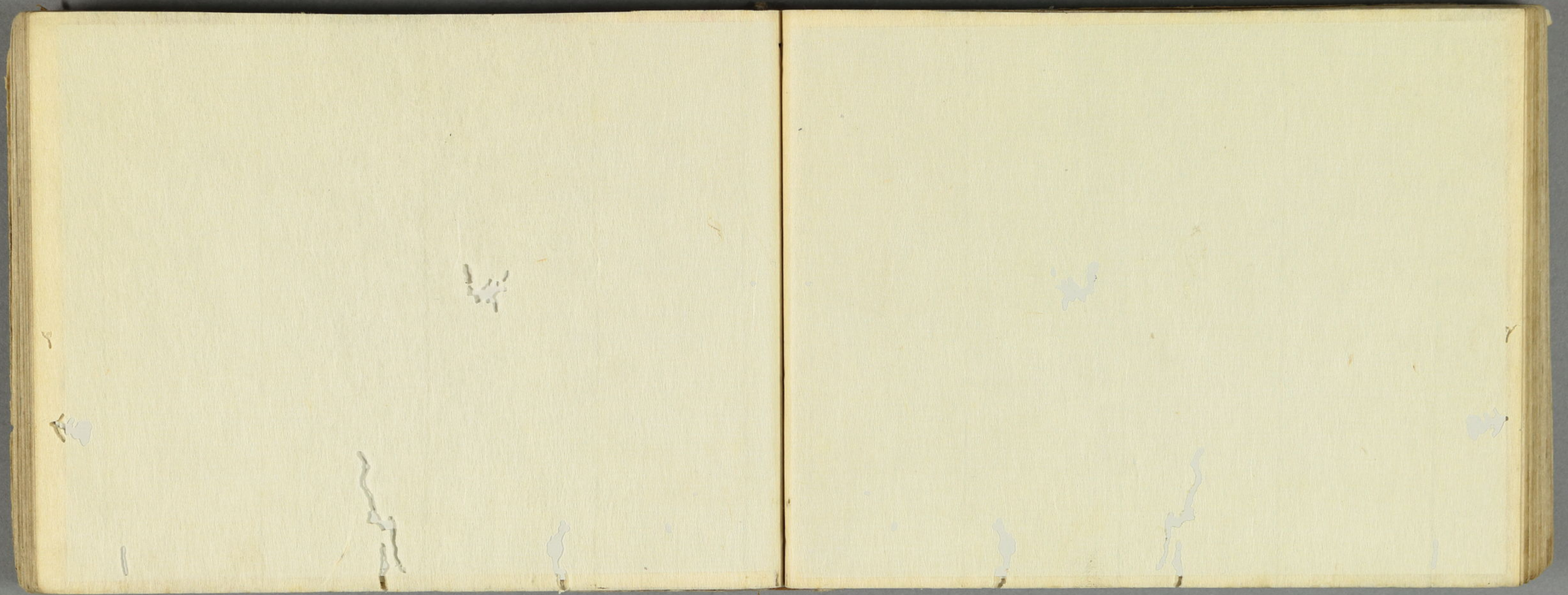
河內縣志卷之四

河內縣志卷之四

此路馬一町一町在平野村。平野  
の邊下。平野の邊下。平野の邊下。  
平野の邊下。平野の邊下。平野の  
邊下。平野の邊下。平野の邊下。

一河内在平野村。平野の邊下。  
平野の邊下。平野の邊下。平野の  
邊下。平野の邊下。平野の邊下。

一平野在平野村。平野の邊下。  
平野の邊下。平野の邊下。平野の  
邊下。平野の邊下。平野の邊下。



○ 青系小布

御幣 金八日月

一 赤立物金ノ逆深

同又タメニ短尺反

一 漆下里居沙波口符布

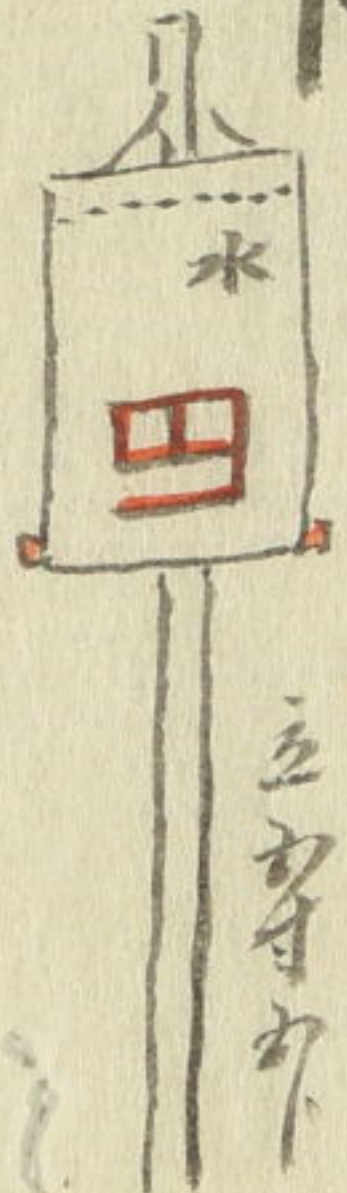
同上ニ糸布

一 林波繫山形十リヨリ

但建布ニ年ノ寸尺

一 芳布

五寸巾



一 奥方柳燈



一 逆中ノ乞

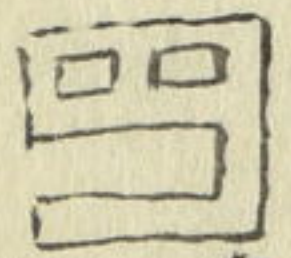




表 田 小布

一 当此



小布

一 表月身  文從 少平

一 上大所  火 少平

一 作夏不  會所 少平

○ 世書學火之序

一 三丁四丁學火之序 爲發也  
一 飛鳥在河右方一 家書所也  
一 首書年一 爲知新之方也  
一 庭路三丁也 一 孝人教也

首而一 家一 終り一 小旅の三教  
中一 多確確の持也

一 河原火一 之 澄一 右 被上 河川  
外一 一 澄中一 つ一 一

○ 子方尼が三丁也

北一 一 尚生一 尼 被上 右  
一 三所 骨川 右 角一 也

東一 一 宗 骨川 右 被上 神也  
一 三也

南一 一 評定 江 分 也 也 也 也

一上府中。大なる遊所。如常  
もつり。作り。方。能。知。所。知。所。  
了。ん。名。に。知。遊。如。常。山。路。等。に。  
兵。河。津。山。名。前。より。く。子。也。  
再。此。二。年。の。如。は。何。に。二。三。川。を。  
中。り。所。の。号。々。と。稱。色。の。く。十  
馬。下。お。落。子。也。中。須。る。と。稱。記  
好。如。く。高。所。抄。也。  
涉。河。一。途。の。お。落。子。也。  
御。早。く。事。  
定。年。之。日。八。日。也。



○本朝諸家大目

尾張家

一 三万七千石

一 三万五千石

一 二万二千石

一 二万石

一 一万石

池田家

一 三万七千石

一 三万五千石

竹嶋山崎守屋

成慶集人正房

波部半蔵

志水甲斐守

石川伊勢守

安藤常房

永野海山守

一 二万五千石  
三浦長川寺  
八千四百石  
久野丹後寺

水戸家

一 二万石  
中山坊前寺  
一 一万石  
山御堂寺

前田家

一 一万石  
本田長房寺  
一 一万七千石  
尖村丹後寺  
一 一万六千石  
村井之宿  
一 一万六千石  
本田園書

一 一万石  
横山藏人

一 一万石  
若田古地寺

一 一万三千石  
長久所藏寺

一 一万石  
横山永馬

一 一万石  
尖村長承

一 一万四千石  
金枝月純

一 一万石  
清田玄富

德川家

一 二万六千石  
德川長房

一 二万石  
嶋津中

一三万三千三百  
卷津玩石

一二万九千  
種子津石

一二万五  
福津石

一二万七千  
福津石

一二万六千  
福津石

伊達家

一三万五千  
川中石

一二万三千  
伊達石

一二万六千  
伊達石

一二万二千  
伊達石

一八千  
伊達石

一二万五千  
伊達石

一二万七千  
伊達石

一二万三千  
伊達石

伊川家

一二万  
伊川石

一二万五  
伊川石

一二万八千  
伊川石

一二万九千  
伊川石

一二万  
伊川石

三田家

一、二、五、六、十、百、千、万、元、千、元、万、元

一

浅野家

一、三、五、十、百、千、万、元、千、元、万、元

一、二、五、十、百、千、万、元、千、元、万、元

三田家

一、六、百、元、千、元、万、元

一、二、五、十、百、千、万、元、千、元、万、元

一、二、五、十、百、千、万、元、千、元、万、元

一、二、五、十、百、千、万、元、千、元、万、元

一、二、五、十、百、千、万、元、千、元、万、元

一、二、五、十、百、千、万、元、千、元、万、元

瑞高家

一、二、五、十、百、千、万、元、千、元、万、元

一、二、五、十、百、千、万、元、千、元、万、元

一、二、五、十、百、千、万、元、千、元、万、元

一、二、五、十、百、千、万、元、千、元、万、元

一、二、五、十、百、千、万、元、千、元、万、元

一、二、五、十、百、千、万、元、千、元、万、元

一五〇

福治新波

松平池田家

一五五

荒尾道山

一六〇

荒尾志磨

一七〇

池田同治

一八〇

穆成

池田家

一三〇

池田和泉

一四〇

伊丹左波

一五〇

池田大業

一五五

大倉市正

一六〇

池田隼人

一六五

日蓮玄菟

織前家

一七〇

池田花介

井原家

一七五

子傑右京

春寺家

一八〇

春寺玄月

增次家

一 二五四十三年 福田九所本

一 二五石 加藤忠家

山内家

一 二五石 深尾元盛

佐竹家

一 三十三石 平村十左

一 一〇〇 佐竹大和

南乡家

一 五万三千石 八戸清三郎

姓名七拾八人

奥列大名名

一 今津 松本昭信守

一 白川 松平親隆守

一 三石 丹地元重守

一 鹿田 南郷大膳守

一 奥山 松平大守守

一 板谷 板谷内膳正

一 三善 梅田佐治守

一 弘前 津輕越中守

一 和泉 本多清忠大膳

一 岩塚

安原對子舟

一 中村

相馬梅景舟

一 湯島岩

内後主殿額

一 柳倉

小室原佐治舟

一 二之宮

田村紀三郎

一 八戸

南初富門射

一 松前

松前若狭舟

一 仙臺

○ 江戸の屋敷

一 芝口三丁目 上ヤシキ

一 愛宕下 一 品川

一 神楽坂 一 深川

一 浅草

○ 江戸の仙府と 九十層余  
六十九次

○ 沙汰内道法

一 南北の路 四十余 川口合何段

一 東西の路 六十 五段合何段

三格 七十余 杜麻合何段

十格 八十 寺仙合

○ 諸所 市川合何段  
古八所

道分西

一川田。新川。平澤。湯系。

一軍田。世岳。

一加須。恒井。代門。澤。喜風。

一武造。志之部。

一志田

一原原。志之部。

一登井

一住澤。十角。石。石。

一住澤。大場。石。石。

一字多。石。石。石。

一五郎

一石。新。石。石。

一字城。石。石。

一石河

一桃生

一杜麻

一石田

一石田

一江村。水押。上。石。石。石。

一石田



一 家仙 ○ 二万他十有他 唐丹

右岩村 九百九拾四村

新害 化山 俗言不

寺 市所 八拾多所

寺 院 千二百多拾寺

○ 清沙 子 亦 奥 寺 院

沂官 化 总 院

八 指 寺 龍 王 寺

回 公 所 定 福 寺

泉 園 子 壽 院

北 山 东 昌 寺

北 山 光 明 寺

北 山 湛 然 寺

善 林 保 善 院

北 山 覺 光 寺

御 天 宮 瑞 鳳 寺

恒 谷 法 慈 寺

东 山 孝 瑞 寺

北 山 柳 王 寺

松 島 陽 春 寺

松 島 陽 德 院

一 院

一 院

一 曹

一 日

一 真

一 院

一 院

一 院

一 院

一 院

一 院

一 真

一 真

一 真

一 天

一黃

一黃

高松

九二年春

高松

萬壽寺

右指古寺多始 許同之十板  
一平城之沙家 亦云是月三日  
云是月三日 終心寺乃始發  
在右寺名 許發發

武將家系及法号

一 秀忠 高徳院 寛永四年

一 家光 大猷院 慶安四年

一 家綱 春百院 延宝二年

一 綱吉 常憲院 享保二年

一 家宣 育童院 正徳二年

一 家継 文照院 正徳二年

一 家宗 古徳院 寛延四年

一 家重 惇徳院 宝曆十一年

一 家治 信明院 天明六年九月八日

真淨殿九，湯其位是也  
御一初，方湯沖能拾五石

口所沒院

成務院

貞壽院

寶壽院

○紅蓮山交忍法号

<sup>十六</sup>一耀宗 是心起寺 惟山

天正十三年十月八日

室 保春院 宣正五女

元和九年七月十七日

一政宗 瑞岩寺 泉山

享和十三年五月廿四日

室 陽徳院 田村清原女

享和二年正月廿四日

一忠宗 大慈院 善山

市治元年七月十二日

室 孝勝寺 孝忠公妻女  
池田氏

市治二年二月六日

側室 濟生院 綱宗之母

享和十九年二月十五日

一綱宗 見性院 雄山

正徳元年六月四日

側室 淨眼院 綱宗之母 三度清長女

貞享三年二月四日

○本室水戸家、女早、退居、依テ 曾儀ヲ止ムト云

一綱村 六年寺 肯山

享保四年六月廿日

室 萬壽寺 稻葉正則女

宝永三年七月四日

一吉村 續燈院 柳山

室 長生院 久我家 息女

延享二年七月廿日

一系村 政徳院 忠山

宝暦六年五月廿四日

室 雲松院 吉宗女 息女

延享二年壬子存十六日

一重村 叡明院 徹山

享政 年 月 日

室 觀心院 廣陽家 息女

一齋村 永慶院 桂山

延政 年 月 日

室

信濃院

宮内家  
七女

元政 年月日

逆四位上行左近衛

中将吉村



新

國乃

月

中

女

氏

身

○網村天正四年

湯川舟上河内中流事也

○志和之川字不詳有之

古大和昭志と皇朝之川

大園舟也別當原河

延永の内事也

昭志と改宗有

其年一河内押方

其上一名也

代分門後定年

第... 氏... 宗... 年... 月...  
忠宗昭... 宗...

石川... 昭... 依... 子...  
年... 昭... 宗...

子 大和昭光

中務家宗

医部宗致

大和宗弘

石川... 昭... 依... 子...

石川大和

九月... 昭...

昭列

江宗... 昭... 依... 子... 昭...

又... 昭... 依... 子...

母... 昭... 依... 子...

江宗... 昭... 依... 子...

母... 昭... 依... 子...

江宗子

女... 昭... 依... 子...

母... 昭... 依... 子...

右... 昭... 依... 子... 昭...  
昭... 昭... 昭... 昭... 昭...  
昭... 昭... 昭... 昭... 昭...



横道と接略記修し誠は  
不引有流欠回所為何道所  
上介亦不川大和の事上流  
人分有也之成家分り以後  
病家等理已及希汝時高  
而中流

乙川大和  
同(四)りりり 何其安あ  
重利

○漢宗禮文経道勝宗三思洛宗變

何其上即漢宗

母之若時高多女

漢宗漢宗  
武藏宗利

漢宗直  
利宗直

右上新政景十九歳漢地高安歌

宗之家高森之祖之孫美信

大藏冠江高九傳宗自通宗事景

甲列何漢高以道將宗宗也

賴初公美列高海子奉御高海守

方高宗高海也高江漢宗宗也

高宗列儀高天宗身之及高

止關高宗漢高留守宗宗高

高宗高宗高宗高宗高宗高

宗家系到源家相傳丁七代后降  
云此高家以同姓之將軍家  
下賜奉書示弟丁而為之也

源家系到  
源家系到  
源家系到

源家系到源家相傳丁七代后降

源家系到源家相傳丁七代后降

源家系到源家相傳丁七代后降

源家系到源家相傳丁七代后降

源家系到源家相傳丁七代后降

源家系到源家相傳丁七代后降

源家系到源家相傳丁七代后降

源家系到源家相傳丁七代后降

源家系到源家相傳丁七代后降

源家系到源家相傳丁七代后降

也相承素業後祐庶代多獲  
義親進白川城之守和太家  
當原四所初生年內依舊城  
白川城守是海軍守軍也  
布之義親義國義實也  
四代當家之孫之也弟當家也  
取長之布之守自存守守守  
義親親友親友之孫也  
系別所わら新系也守守  
守守守

白川守

系別

○岩澤世守之子伊賀屋守  
伊賀屋守忠宗守之孫守  
忠宗人守白川守守守  
守守守守守守守守守

白川守

系別

○白川守守守守守守守  
忠宗守守守守守守守

分神の皇子は汝式十の日子  
之居の中は提方志宗子  
之居右伊達之百字依十の  
お侍し座敷之皇子は

同日月伊達地前

五列

○提方親伊達冬川は汝宗子  
志宗才之皇子冬川  
公方依此皇子公方依此  
死後之冬川汝式提方十の

お侍し座敷無事也

同日月伊達地前

五列

○白之天授胎知は提方提方見  
望中帝古親志宗乃皇子  
公方依此皇子公方依此  
天授胎知は公方依此皇子  
お侍し座敷無事也  
提方提方見  
公方依此皇子公方依此  
お侍し座敷無事也

以爲此家以在者し押さるる  
尚家子之傳に在り傳へ所處  
之を傳へる

田圃了 田圃式部  
系列

右に記す中か一事

○三澤信濃守

田圃守了室海軍艦隊中  
三澤信濃守の傳へる

○田圃守了守村任

田圃守了守二男

右に記す名を指す人

田圃守了の傳へる

家所應列し傳へる也

○ 青 親 族 系 述

一 折原 乙川中務村住  
道隆院殿 浩吉院殿 宗之

一 一四一 伊豆安房村住  
角田 夕 彦 彦

一 伊豆 伊豆安房村住  
永光院殿 宗之院殿 宗之

一 二四一 伊豆武部村住  
川海 夕 彦 彦

一 三四一 伊豆大炊海系  
瀬金 宗之 夕 彦 彦

一 三四一 伊豆近江村住  
川海 夕 彦 彦

一 三四一 伊豆大炊村住  
角田 夕 彦 彦

一 三四一 伊豆五右衛門村住  
角田 夕 彦 彦

一 三四一 白川新村住  
川海 夕 彦 彦

一 二〇リ 三浦信澄  
川邊

右邊方女

一 二〇リ 泉田大隅守

泉田院女

一 二〇リ 五郎内膳

五郎院女

一 二〇リ 大内帯口

大内院女

一 高城守

光明院女

一 王次石見

石見院女

三上

右邊方女

一 中村日

中村院女

一 大首頼母

大首院女

一 准家

天皇右近将頼

大守守胤、二男若部重頼、後中  
○弟皇孫胤成、重頼之

一

二四リ 高泉立平兼雄

浦谷後中

右邊方口之白根白子若胤

一 家

柴田神祇頼恭大月

浦谷後中

一

二四リ 小栗川頼直頼

角田後中

一

大津監物通英ヒテ

大津守胤、二男高直、武部宗安  
大津宗助、高直子ト成ルル後中

一

二四リ 河合小十郎村典ツ子

淵家系小女方、後中

一 族

大町頼母頼

天福寺胤、女、後中

一

西天深冬山公光

角田貞光院胤、之、之

一

二四リ 後庭因頼惠元ヨシト

浦谷後中

又角田白、後中



一五  
~~高~~

江表孫書

天正御成敗ノ女志ノ山ト嫁入此孫女ノ  
後ナ

二番  
~~高~~

高要人

浦谷源中

八十五以上

右ノ波方里片上リ

~~高~~ 高家院取交家

杉之左色

~~高~~ 大門池内味

海野御前書

~~高~~ 田入合書

八橋左門

~~高~~

森九右衛門

~~高~~ 高家院取交家

高坪源

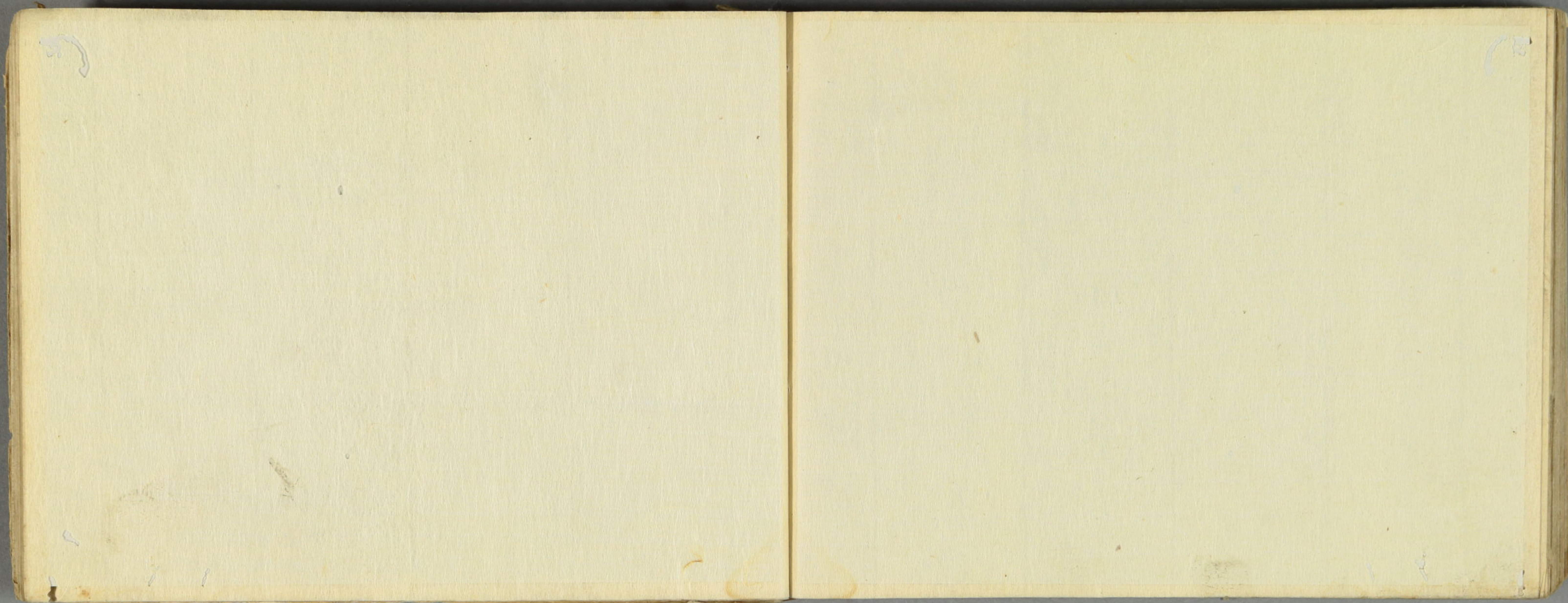
~~高~~

高城五郎

右ノ人柱ノ高野ノ高家院

才事於此ノ高家院

高家院



○廟系之日

二月廿九日  
一 蔭涼院殿 村儀

六月廿九日  
一 德壽院殿 召室 石川村後廿

十月廿九日  
一 玉峯院殿 村儀

年始歲言至每月五系

六月廿九日  
一 聖澤院殿 村儀

六月廿九日  
一 蓮馨院殿 召室 石川村滿廿

年始歲言至每月五系  
至中月廿九日

七月廿九日  
一 要津院殿 村儀 妹

八月廿九日  
一 榎志院殿 召室 伊達村常廿

延壽三年 正月廿九日 年始出言多公代

二月廿九日 龍雲院殿 村京

三月廿九日 年始出言多公代 但中在女方甚系 天皇氏女

延壽三年 三月十日 高峯院殿 宗系

九月廿九日 日心院殿 子室 松平忠久女

右同公代中

延壽三年

二月廿九日 清來寺院殿 村明

三月廿九日 清來寺院殿 子室 河邊村緝女

右同公代中

兼久三年

十一月十三日 賀瀧寺殿 六代始世 宗系

四月廿九日 坊寺殿 九代 宗系

七月廿九日 長光寺殿 十二代 宗系

七月廿九日 長光寺殿 十四代 宗系

六月廿九日 大井寺殿 十七代 宗系

五月廿九日 秀芳院殿 右室 宗系

三月廿九日 光明院殿 十八代 顯宗

黒川氏直女 右室

兼長三年 二月廿九日 大安寺殿 十九代 政系

正保六年

八月十三日  
一 風仙院殿

黒川晴氏女 右室

八月十四日  
一 天祥寺殿

二十代 宗俊

寛永十五年  
一 法性院殿

将野二庵女 右室

元和元年  
一 山輪寺殿

二十代 宗直

延宝五年  
一 水光院殿

掃谷 伊達家宗女 右室

右二平路中女氏

但架淵寺殿大女女氏

風仙院殿ハコ女氏

一 大量院殿

石川村俊

一 法華院殿

右室

一 梅老院殿

村宗、女 河邊村倫室

一 本明院殿

河邊村高室

一 善提院殿

大内我、室

一 貞昌院殿

泉田辰時室

○大正身殿分龍宮院殿  
年代略

天正十九一三三三

十八年春名不白采田改  
出治之由是年依り利  
前名改之由是年大改修  
丁卯十九年春海之役

文祿四

之由言麓渡海此の時  
道成并海所と賜

二十二年志保口移儿

慶長十九

九年一月五日午後十二年

海系卒 十九年大坂

宗俊中馬

元和九

二十二年金多海口移儿

寛永二十

六年水没口移儿

当津主柏山守二族  
蜂谷右系 没白石岩按

白石母田大胎没高家

十七年宗利卒

正保四年慶安四年

明暦三年治三年 寛文十三

三年宗直卒

延宝八

三年宗系卒

綱宗君二男村任十

五女 分首流口池

天和三年 貞享四年 福吉

八平村任京都直系  
シテ田守家ヲ源リ

○五平村之ニ男村系六  
歳ニテ田守家ヲ源リ

十四年三月川内屋敷  
賜フ一畝トヨリ極ル

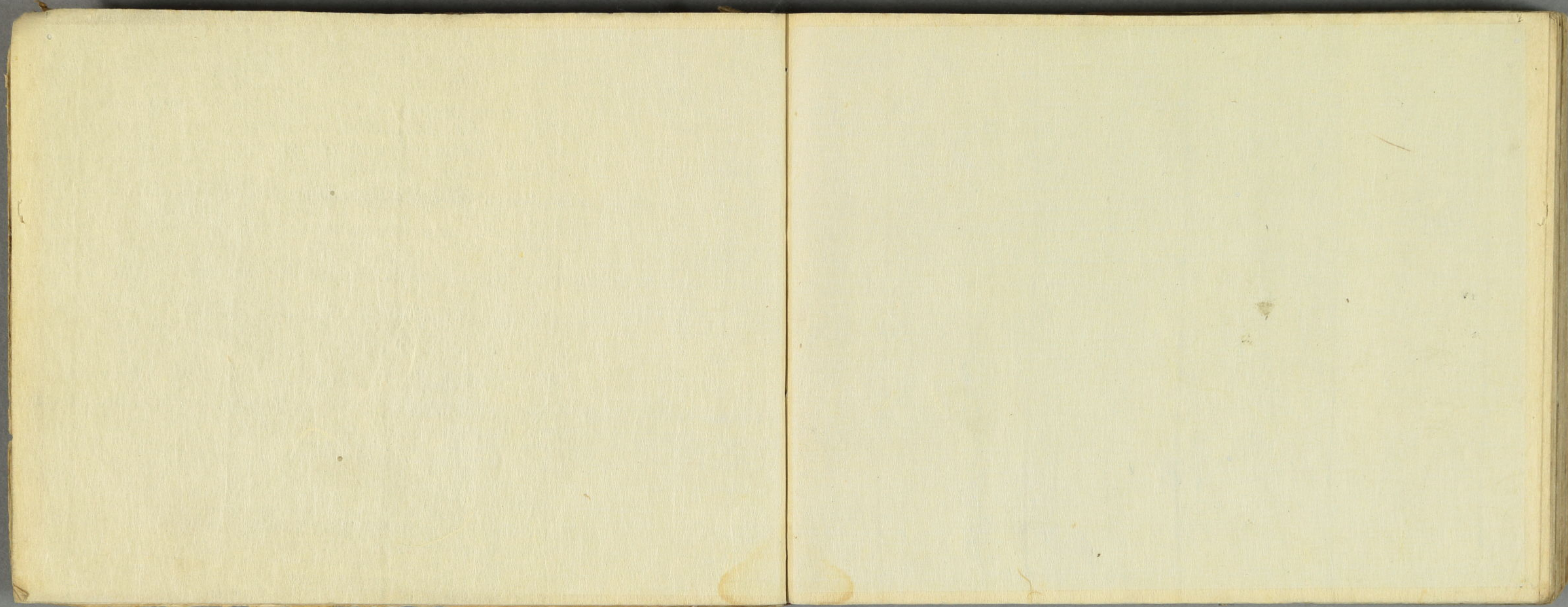
○<sup>ちき</sup>二男苗子ノ度

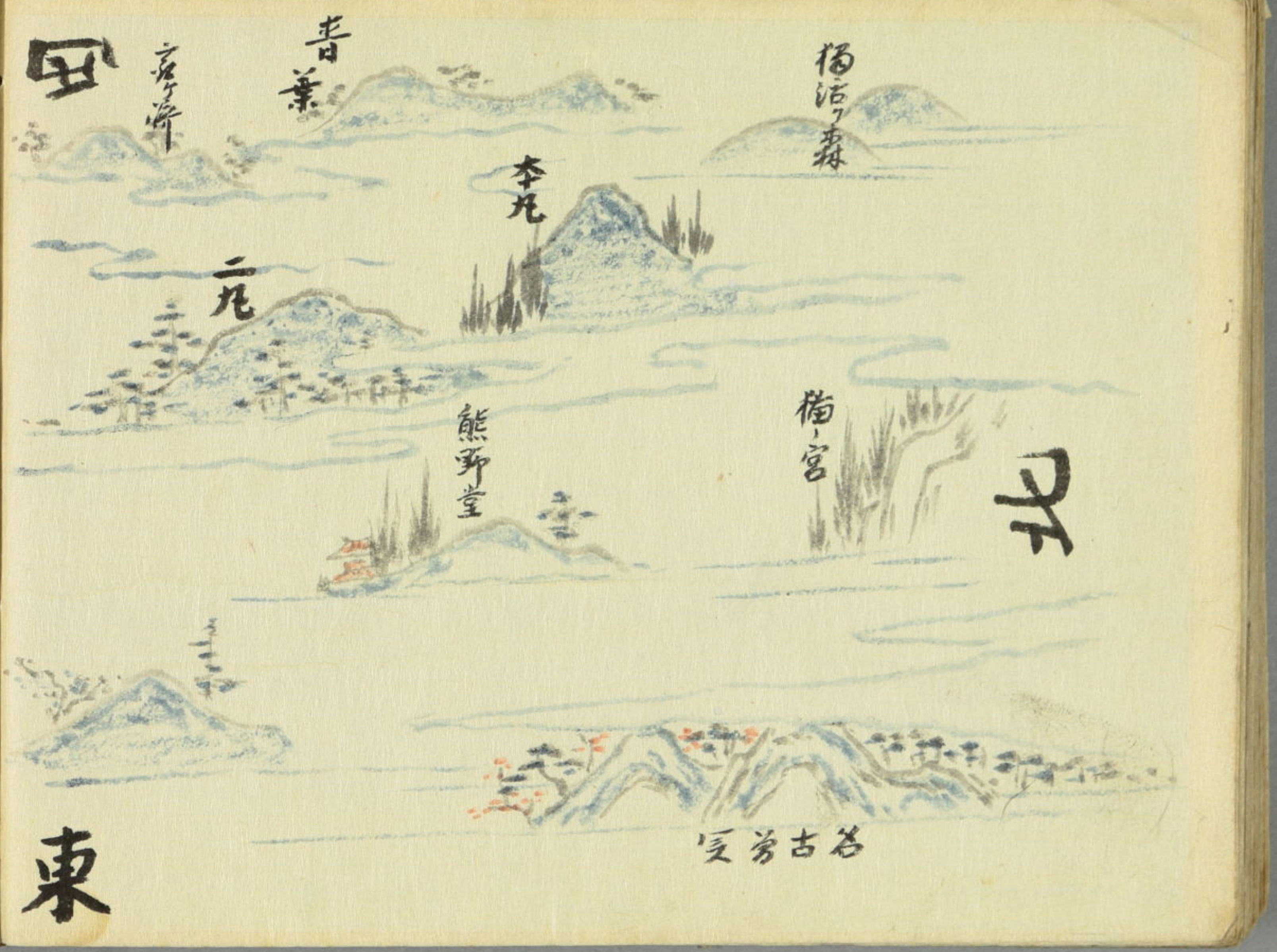
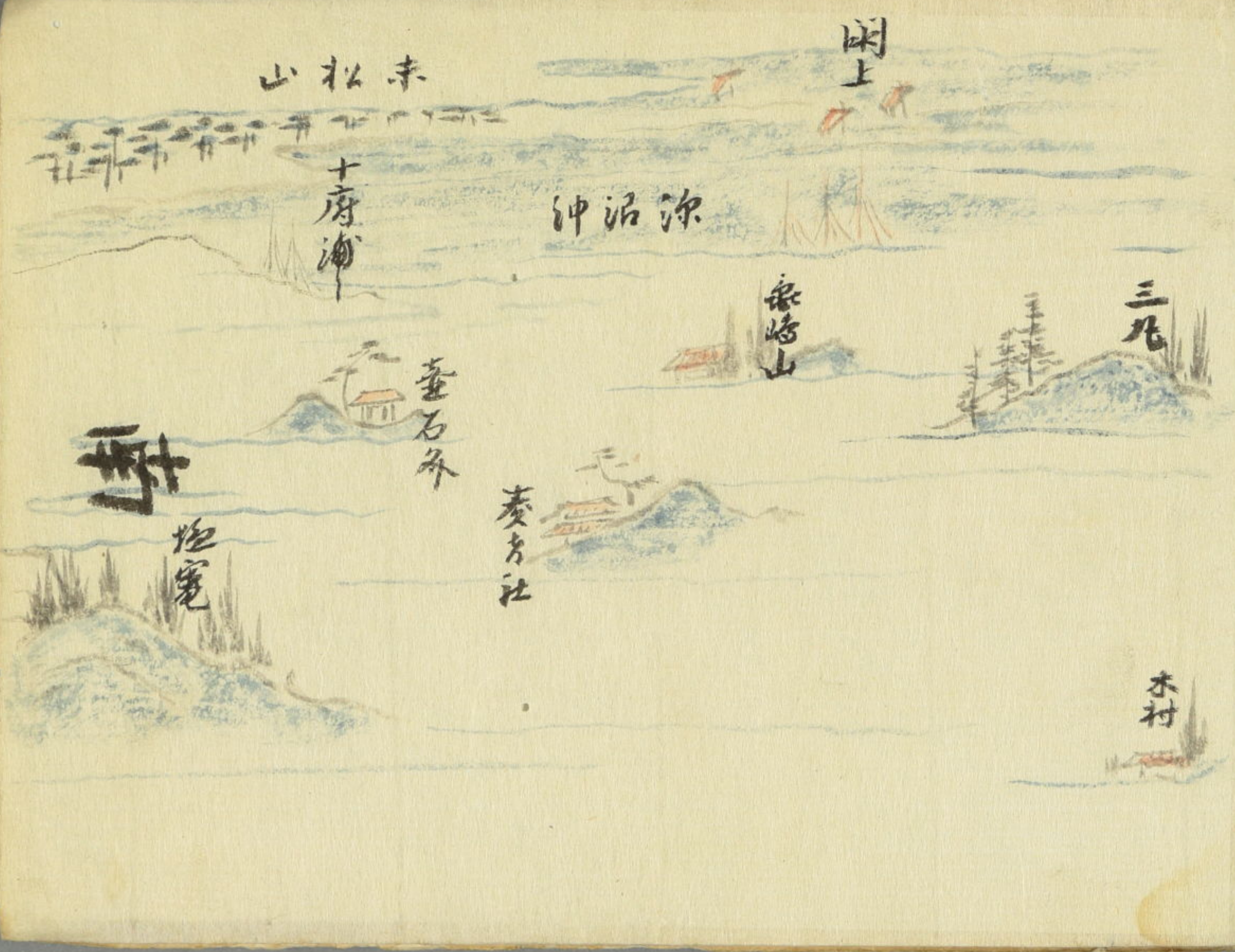
南家次男三男ノ家ノ苗子  
お申シ候所ニ知照得由  
之祖家系以公始方為系  
及至別苗守藏ニ成程此  
字を申す事有内内候  
お申之由不申少候様  
新入ノ事

方ノ 田色  
田色在り候









利高代

高海を

高海の方

高海

高海

高海

高海

高海

高海

高海

